学校教育目標	# 岡部中だより	平成２５年６月２５日(火)　第５号
○志を持ち自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を持ち礼儀正しい生徒 ○健康でねばり強く取り組む生徒		埼玉県深谷市立岡部中学校 TEL 048-585-2623 Email：kyoto@okabe-j.ed.jp

２年生自然体験教室

６月６日(木)・７日(金)に２年生の自然体験教室を西湖津原キャンプ場を拠点に行いました。自然道の散策や風穴に潜ったり、正に自然を満喫することが出来たと思います。キャンプファイヤーも大変盛り上がり、「無敵の友情」が育まれたものと思います。キャンプ場を始めクラフト体験等、けじめのある生活で怪我もなく思い出に残る素晴らしい自然体験教室でした。リーダーを中心とした２年生の成長を学校全体の成長に結びつけてください。

古の都での修学旅行

６月１５日（土）・１６日（日）・１７日（月）の２泊３日で修学旅行に行ってきました。初日は岡部駅からの貸し切り列車に乗り、東京駅からの新幹線乗車で生徒達のテンションもかなりあがっていました。京都駅から奈良に向けてバスに乗った時から雨が降り出し、法隆寺と奈良の大仏、奈良公園を十分に楽しむというわけにはいきませんでした。それでも、大仏を目の前にしてその大きさに圧倒されていました。バスで京都に向かい、宿舎の洛南会館に到着したのが午後６時３０分、すぐに夕食となり笑顔いっぱいでした。入浴をはじめ、宿舎での生活はマナーも良く、体調も含めて何のトラブルもなく大変しっかり出来ました。２日目はタクシーで移動しながらの見学で、どの班も全ての行程を計画通りに進めることが出来ました。日曜日で天気もよく、京都市内は観光客で賑わっており、バスは始発から満席で途中のバス停からはほとんど乗れない状況でした。これを想定してタクシー見学を実施したわけですが、歴史的背景や特徴などを運転手さんに案内していただいただけでなく、健康安全面でも頼りになりました。宿舎(東寺洛南会館)の玄関先に準備された４４台のタクシーは圧巻でした。夕食をすませた後は「舞子鑑賞体験」でした。舞踊を見た後、舞妓さんとの交流があり、沢山の質問に答えていただきました。あこがれた職業とはいえ中学卒業後１９歳までほとんど両親と会えていなかったり、携帯も持てなかったり驚いたことが沢山ありました。夢の実現のために真剣に稽古に励む姿に心打たれましたね。リーダーを中心に大成功だった修学旅行を次の目標に繋げましょう。

花ボランテイアと共に夏花壇づくり

６月１４日（金）に地域ボランテイアの松本さん、久保田さんと共に花の植え替えをしました。緑の王国の支援もありますが、各学級の環境美化委員を中心に積極的に協力してくれました。「健全な精神は健全な肉体に宿る」と同じように「豊かな心は豊かな環境から育つ」と思います。緑も多く、花壇にいっぱい花を植え、きれいに保つよう世話をする気遣いからは自然と優しさが育つと思います。これからもきれいな学校づくりに努めましょう。

地域の支援に感謝

岡部中学校は校地が広く、周囲を沢山の樹木が囲んでいます。取っても取っても雑草がはえてしまったり、木の枝もフェンスを越えて道路に覆い被さったりしていますが、その都度本郷の木本さんが気づいて処理してくれています。右の写真は、正門に沿って給食センター方向へ続いている垣根の一部ですが、やはり木本さんが「やっといたよ～。」ときれいに補修していただいたものです。

基礎学力の定着･向上を目指して

◆基礎学力の向上を目指して、計算力検定を実施しています。７月５日が第３回目になりますが、年間８回で８級から１級を目指して挑戦していく取り組みです。ここで出題されている問題も数題中間テストや期末テストに出題されますので、しっかり準備をして取り組んでください。級の取得状況は通知票でお知らせします。

◆３年生を対象に「ステップアップレッスン（放課後学習会)」が６月２４日(月)からスタートしました。昨年よりも早い時期にスタートし、回数も増やしています。参加者自身が目当てを持って参加するようにしてください。効果・成果に大きな差が出てきます。　「させられている仕事をする仕事に変え得たとき　苦しみが喜びに変わってくれる」

３つ褒める（過程も大切）

岡部中学校では、あきらめずに挑戦し続けるたくましい生徒の育成を目指して「①努力していること　②粘り強く取り組んでいること　③我慢していること」の３つを褒めるように心がけています。ついつい結果だけに目がいってしまい「結果がダメじゃ意味がない」と考えがちですが、結果を出すまでには積み重ねが必要であり、目標が高いものであればあるほど長い期間を必要とする場合が多くあります。結果を出すまでに、成果が現れるまでに心が折れてしまいそうになった経験は多くの人がもっていると思います。投げ出してしまいそうになった時、心が折れそうな時に励ましの言葉をもらえたなら、具体的な取り組みを褒めてもらえたなら、きっと続ける力が湧き出てくるものと思います。「続ければ本物になる」続けることによって確実に力が付きます。ご家庭におきましても、目標を持たせるとともに、過程に目を向け３つを褒めるよう取り組んでみてください。お子さんが、何を目指して、どんなことに取り組んでいるのか、どんな自分をつくろうとしているのかが見えてくると思います。認められる欲求は大人にも誰にでもあることです。まずは、気づき、見守り、励ます、ということからコミュニケーションを図っていきましょう。